

2022.3.20 第 132 号 年金局・「隠退教師を支える運動」通信

夫元理事

イエス

様

0

御

を受け

関東教区・本庄教会牧師

 $\mathbf{H}$ 

國磨呂



疋田 國磨呂牧師

の理高 て3名であります。 は教師の一人として、 元理 韶 四安晴戸 理

32名とありますから、教団のおりにと勧めて来ました。 4 は、5年前に大宮教会を拝出席2名の本庄教会に仕えています。2019年度までの教団全体の礼拝出席平均がの教団全体の礼拝出席平均がの教団全体の礼拝出席平均に大宮教会を

げることができました。教

0 0

献

金5470

0

円献金」に各教会が参い。その信徒理事のは、「謝恩日献金」なり、これを可僚教師のは、これを可僚教師のは、これを可能をは、これをいる。これでは、これでいる姿に心打れる。 し、支給ができるかと祈りれた献金を安全に有利に管 懸命に全国諸教会よりなときの生活のためにと、 終えて隠退教師となられた、教団の教師の皆様が務め **魞金」に各教会が参加教師を支える運動・** 0 至に有利に管理教会より献げら 当 や「隠ずの皆様の心打たれまかと祈り協 事 加 1 する 0 方 Ŏ しかし、年金特集 (№7) の中川理事長の報告によると 2020年度の謝恩献金が前 年度実績を上回る額が献げら 本庄教会も小さな群れながら 本店をあり、真に感謝です。

なりました。 常は前年度よ かと思います。2020年度、めに身を置くことができたの平均的状況に近い中に主のた 、平均出席が21名に-度より1万1246

コリ の諸教会が激しい試 立っていることを改 れ団 1・1~15に、 ·ださる献 の信徒たちが祈って献げて 2月24日の教団聖書日課、 「満ち満ちた喜びと極 と言う姿が記されてい まず 心から感謝いたします。 さがあふれ出 ントの信 施 こうした小さな す豊かさとな 金によって成 しい試練の中にマケドニア州 徒への手紙二 て、 めめ のて痛感 となっ 、人に 度の ŋ ま

> た。それは、主の貧しさによったがたのために貧しくなられ ためだったのです。」 て、 主は豊かであったのに、あな を知っています。すなわち、 の主イエス・キリストの恵み なたがたは、 あなたがたが豊かになる /۱ 口 には言 つ わたしたち ています。

なり、 神の子の地位を捨てて、人と 主イエス様は、 世 しかも極度に卑しい姿 に来られ 富と力ある 私たち罪

> が、 主イエス様の御愛を受けた者に富ませるためでした。このは私たちを神の子として豊か は活か人 :、どんな厳しい状況に置か1イエス様の御愛を受けた者 L かの って死ん てください 罪 の犠牲として十字 で、 ました。 三日目 こに復

(ひきた くにまろ)

0

ではないでしょうか。

しみなく献げることができる

れ

ても、

喜びにあふれ

て、

追

の井を ため 上昌保推進委員が腎不全 支える運 去る1月5 86歳で天に召され 動推 月 進委員 隠退: 会」 ま

立した。 会にお 1 9 7 る運 51 初 ŀ. 議場 委 員 泥上 上 は く関 この 程 3 運 れ 動 九 設

働

きを

さ

た方

推進することが満場一致で明決されました。これ以降で表力され、その責任を果たされました。誠に主を果たされました。誠に主を果たされました。可決されました。可決されました。これ以降がよりなが、神様のもとへと れ、この選が議案説 ねま 共に、 この の運動を教 明 運 者 設 動 立 が Ū 当 歴 团 . 方を天 初の大 立ており 7 として

> がにに すけこの 0 淋 れ お ればと思わされる次第での運動を継承していかなっ後に続く者がしっかり 後に続く者がしっかり 送 りすることは まこと

るようにと祈る次第です。 隠退教師を支える運動」推進委員会 主が井上委員を祝しご家 二に豊かな慰めが与えられ」が井上委員を祝しご家族 事務局長鈴木秀信

の上



### 隠 退 教 師 を 支 え る 運 動 1 0 0 円 献 金

# 隠 退 教 師を支える運 今後もご支援

## . 隠退教師を支える運動」 推進委員長 池 田 浩二

染力の ます 地現 元域が が 蔓延防 · 全 国 年目 コロ いオミクロン株が出日となり、さらに感 的に急拡大してい止等重点処置指定 ナウイル ス禍 0

0 を余儀なくされてい 私 教区、 中 達 教区、支区の集会、達キリスト者の聖日 )円献: で、 この 金運動という小さ 私達が信 信 徒 聖日 促運動は います。 仰を な活 委員 礼拝

会活動もいろいろ変則的

きました。

荘の運営に携わらせていただ の先生方と生活をともにし、



浩 委 池  $\blacksquare$ 

与えら として、 2006年からは信愛荘主事 年からで、 与えられたのは、 はじめてお目にかかる機会を 「信愛荘」 て励んでいます。 気が隠退教 れた感謝と喜び 2010年まで入荘 の運営委員として、 隠退教職 師の先生方と、 1 9 9 8 0 1 証と

その 2016年まで10年間 ら 团 団年金局理事、併せて200 加 は の先生方の年金支援活動に 後、 させていただきました。 常 委員長を引かれ、 任 隠退教師を支える運 理事、 委員長がご事情 Ŏ 2 0 0 4年からは 記 隠退教 として **6**年 図らず か

> り、 とは、 今後の推進に必要と痛感し願いすることが、この運動 た。この度は、 でご支援下さったご縁 して下り、 荘に おります。 むを得ずお受けした次第でし 伺 を引いたのでしたが、 つてい 2の推進に必要と痛感して.することが、この運動の 身心ともに世代交代をおこの度は、私も90歳とな 下り、ミニコンサート等!もリードオルガンを寄付! にピンチヒッター 私自身、 同じ教区で、ご事 ましたし、 で年金 また信愛 森さん で、 が 情 1F. も 局

教区で取り組むべき信徒運動れ、全会一致で承認され、全団総会に北海教区から提出さ る中、 事が 大切 金運 点は、1978年 して内容として、 になった歴史にあ 南米の古い民話 隠退教師を支える運 で水を運 であったと思われます。 動として始められ 羽のハチドリが 多くの動 に、 100円献 3ります。 そ で き信徒運動 必死に火を - の第 物が逃げ んなこと 森で火 た事 20 動 べくち 出さ数の原 ŧ

> た。 動物 ているだけよ」— そ 「私は私に出来る事をし ŧ たちに、ハチドリは 民話はそこ こややか 言っ

・ 私達がお献げする100 てい により大きな力になると信じ 来るなら、主の導きとお助 もずっと続けていくことが出 加してくださって、 多くの教会が、この運動 わってくださり、一教会でも ます。 一人でも多くの方が加 、これからの運動に参 か 0 で円

(いけだこうじ/霊南坂教会)



この運 に感謝 し出 高 進 池 さるようお願 て就任され 委員 森啓 2 田 られ了承されました。 0 0 浩 ため、 いたし 22年 動 会において。 一委員長 のためにお祈りくだ 前委員長の後任とし 3 します。 41 委員長辞任を申 1 年間 41 月 、の謝辞 たします。 のお働い 開催 ご自 今後とも 身ご 0 推

### 業務室より

## 一年金を受けている方へ 一年金給付のお知らせ

4月の定例給付のご案内をします。

送金内容 2021 年度第4 期分給付 (2022 年1·2·3 月分)

<u>送</u> 金 日 2022年4月8日(金) 期日に、ご指定の金融機関に入金されて いない場合は、ご連絡ください。

次回送金 2022年7月8日(金)

連絡先・年金振込先の変更は、できる 限り早めに、書状、Fax、e-mail の何れ かで、年金局までお知らせください。

- ☆第41総会期第7回年金局理事会が、1 月21日(金)オンラインと書面決議の 併用にて開催されました。今年は対面会 議も予定しておりましたが、年明けの感 染者増加により、急遽オンラインに変更 となりました。短い時間でありましたが 意見を交わすことができ、以前と異なる 状況の中でも、理事の方々が相違工夫を され、謝恩日献金や年金加入へのアピー ルの機会を捕らえてくださる姿に感謝で した。
- ☆昨年 12 月に廃止された四国教区徳島南 伝道所より、土地・建物売却益の中から、 多額の献金をいただきました。感謝して 教師退職年金制度のために用いさせてい ただきます。
- ☆昨年11月に最後の遺族扶助料受給者でいらした方が主の御許に召されました。 教団が設立前からいくつかの教派で実施されていた恩給制度が、教団創立3年目に「養老年金」と「遺族扶助料」を支給する謝恩金制度として発足し、現在に至

りました。謝恩金規則に「謝恩金の受給者が存在しなくなったときには、謝恩金基金の残額を教師退職年金勘定に繰り入れる」と定められており、今後の処理につきましては、次回の理事会において審議決定となります。これまでの歩みへの祈りと献金に感謝を申し上げると共に、引き続き教師退職年金制度へのお支えとお祈りをお願い申し上げます。

(村山めぐみ)

### 《2022 年度現況届》提出のお願い

今月は「現況届」を提出いただく月で す。同封のハガキをご確認ください。

- ①記載事項に変更がある場合は訂正をご 記入ください。
- ②緊急連絡先を必ずご記入ください。
- ③ 2022 年受給者名簿 (9 月発行) の掲載 や配布についてのご意向をご記入く ださい。

以上をご確認の上、同封の「個人情報保 護シール」を貼付し、ご投函ください。

### 投函期限 3月31日(木)

※このお知らせを受け取られましたら、 <u>速やかに、</u>記入・投函をお願いいた します。

#### 【ご注意!】

このハガキの受け取りをもって、みなさまの現況の確認といたします。ご提出がない場合には、7月8日以降の送金を停止いたします。その後、確認ができ次第送金は再開いたしますので、<u>期日を過</u>ぎた場合も速やかにご郵送ください。

日本基督教団 年金局「隠退教師を支える運動」推進委員会

ON CONTROL OF THE PROPERTY OF

〒 169-0051 東京都新宿区西早稲田 2-3-18

年金局 Tel: 03(3202)2080 mail: nenkin@uccj.org

支える運動 Tel: 03(3232)8005

mail: sasae100@uccj.org